

平成 21 年 3 月 19 日

各 位

東京都港区虎ノ門四丁目 1 番 28 号
虎ノ門 Towers オフィス
フィンテック グローバル株式会社
代表取締役社長 玉 井 信 光
(コード番号：8789 東証マザーズ)
問合せ先：経営戦略本部 財務部長 鷲本 晴 吾
電 話 番 号：(03) 5733-2121

**たな卸資産の評価損及び貸倒引当金繰入・貸倒損失の計上
並びに子会社（特別目的会社）の異動を伴う匿名組合出資持分の譲渡等に関するお知らせ**

本日の取締役会において、第 2 四半期の連結決算で、たな卸資産の評価損（個別決算では営業投資有価証券評価損）、連結・単体決算で貸倒引当金繰入及び貸倒損失を計上することを決議するとともに、子会社（特別目的会社）の異動を伴う匿名組合出資持分の譲渡等を決議いたしましたので、その概要を下記の通りお知らせいたします。

記

1. 連結決算におけるたな卸資産の評価損（個別決算においては営業投資有価証券評価損）、連結決算・個別決算における貸倒引当金繰入及び貸倒損失の計上とその内容

金融市場が混迷の度合いを深める中、資金調達環境の悪化とともに、不動産取引は大幅に減少し、不動産市況は加速度的に悪化しております。

このような事業環境の激変を踏まえ、連結子会社である特別目的会社が所有する不動産について、評価の見直しを行った結果、第 2 四半期連結決算において売上原価にたな卸資産の評価損 11 億円（個別決算では営業投資有価証券評価損 11 億円）を計上することになりました。また不動産開発プロジェクトを行う特別目的会社等への貸付金及び保証に対し、特別目的会社等が所有する不動産の価格調整等により、貸付金の回収可能性及び保証履行の可能性を見直した結果、第 2 四半期連結決算において販売費及び一般管理費に貸倒引当金繰入と貸倒損失を合わせて 40 億円（個別決算では 32 億円）を追加計上することといたしました。

2. 子会社（特別目的会社）の異動を伴う匿名組合出資持分の譲渡及び子会社に対する貸付債権の譲渡について

(1) 譲渡の概要

当社は、特別目的会社である有限会社 N J スティール・ベータ（連結子会社）を営業者とする匿名組合出資持分のすべてを第三者に譲渡いたします。この結果、同社は当社の連結の範囲から除外されます。また、当社から同社への貸付金の債権についても、第三者に譲渡いたします。

(2) 異動する子会社（特別目的会社）の概要

- ①商号 有限会社N J スティール・ベータ
- ②代表者 代表取締役 野坂照光
- ③所在地 東京都港区元赤坂一丁目1番7号
- ④設立年月日 平成18年2月13日
- ⑤事業の内容 不動産投資等
- ⑥決算日 11月30日
- ⑦最近事業年度における業績、総資産及び純資産

(単位：千円)

	平成20年11月期
売上高	—
経常損失	1,698
当期純利益	18
総資産	25,474,651
純資産	2,853

(3) 異動の年月日

異動に関する日程は、以下の通りであります。

- 平成21年3月19日 取締役会決議
- 平成21年3月25日 匿名組合出資持分の譲渡契約締結（予定）
貸付金の債権譲渡契約締結（予定）
- 平成21年3月26日 匿名組合出資持分の譲渡日（予定）
貸付金に係る債権の譲渡日（予定）

(4) 業績に与える影響

有限会社N J スティール・ベータの匿名組合出資持分及び貸付債権の譲渡により、第2四半期の連結決算及び個別決算で売上原価に営業投資有価証券売却損86億円、連結決算で売上原価にたな卸資産の評価損30億円（個別決算では販売費及び一般管理費に貸倒損失28億円[第1四半期決算までに貸倒引当金繰入計上済の174百万円は除く]）を追加計上いたします。

3. 今後の見通し

本日別途公表しております「2012年満期ユーロ円建転換社債型新株予約権付社債の買入消却に関するお知らせ」に記載の通り、本社債について額面金額100億円分（額面金額ベース）を買入消却する場合、特別利益として約70億円の社債償還益が発生する見込みです。ただし、具体的な買入消却額は上記予定金額から変動する可能性があり、また、買入価額が現在の想定金額から変動する可能性もあるため、上記特別利益の金額についても変動する可能性があります。上記特別利益の額に重要な変動が生じた場合には、別途お知らせいたします。

上記1. 及び2. 並びに社債償還益についての業績への影響をまとめると以下のとおりとなります。

(連結決算での追加損失及び利益) (単位：億円)

売上原価	
たな卸資産の評価損 (1. に記載)	11
営業投資有価証券売却損 (2. に記載)	86
たな卸資産の評価損 (2. に記載)	30
販売費及び一般管理費	
貸倒引当金繰入と貸倒損失 (1. に記載)	40
特別利益	
社債償還益	70 (予定)

(単位未満切捨て)

(個別決算での追加損失及び利益) (単位：億円)

売上原価	
営業投資有価証券評価損 (1. に記載)	11
営業投資有価証券売却損 (2. に記載)	86
販売費及び一般管理費	
貸倒引当金繰入と貸倒損失 (1. に記載)	32
貸倒損失 (2. に記載)	28
特別利益	
社債償還益	70 (予定)

(単位未満切捨て)

第2四半期累計期間及び通期の業績予想については、平成21年2月10日付の第1四半期決算短信の発表時点において、当社を取り巻く事業環境として、不動産市況の調整が予断を許さない状況であり、また、当社は開発型証券化アレンジメントに代わる新たな収益源の探索を行っている状況にあるため、業績予想のためのこれらの見極めは非常に困難であると考え、数値による開示を行っておりませんでした。

今回の貸倒引当金及び評価損の計上により、問題債権に対しては相当程度の処理を行い、当期の課題の1つであるアセットのリスクマネジメントについて、課題克服への道筋はつけられたと考えております。今後も不動産市況が予断を許さない状況であるため、各案件の進捗を見極め、適時適切に対応するとともに、新株予約権付社債の償還原資となる貸付金回収等に努めて参ります。また、新たな収益源の探索については、依然として模索が続いている状況にあり、現時点においても、数値による業績予想の開示は難しいと考えております。このため、平成21年9月期の業績予想については、今後の営業展開を踏まえ、開示できる状況になりましたら、開示させていただきます。

以 上